



学校だより

# はと広場

～自利利他円満～一人ひとりが幸せになる学校～

5 月 号

令和 4 年 4 月 2 8 日

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

有用感～もらう幸せ、できる幸せ、あげる幸せ～

校長 三村 悟

はと広場の主役はハナミズキからツツジへと変わり、登校する子供たちは半袖姿が目立つようになりました。明日から始まる大型連休では、新学期のスタートで張り切った心と体をゆっくりと休め、5月の学校生活に向けてエネルギーを蓄えてもらえたらと思います。

4月は新しい学年になり、クラスも変わり、子供たちに新しい出会いがたくさんありました。新しい出会いには期待と不安が入り混じりますが、家族の皆さん、教職員、そして同級生や上級生のあたたかなふれあいのおかげで、子供たちは安心して毎日の学校生活を送ることができました。特に1年生は、担任とのふれあいだけでなく、毎朝教室でお世話してくれたり、教室を掃除しに来てくれたりする6年生のお兄さんやお姉さんとの関わりも楽しそうです。

1年生のお世話をしてくれている6年生はどのように感じているのか、アンケート調査をしました。結果は下の表のとおりです。

### 1年生へのお手伝いについて (6年生 113名 回答率97%) 人

質問項目	A	B	C	D
1年生の教室に手伝いに行くことは楽しみですか	51	39	17	3
1年生の教室のお手伝いは大変ですか	10	35	32	33
これからも1年生の活動を手伝ってあげたいと思いますか	71	33	3	3

\*「A」…とても(楽しみ・大変・手伝いたい)、「B」…どちらかと言えばA、「C」…どちらかと言えばD、「D」…全く(楽しみではない、大変ではない、手伝いたくない)

私は、この結果を次のように読み取りました。

「1年生の教室に手伝いに行くことは楽しみだったけれど、手伝いは思っていたより大変だった。でも、これからも手伝いたい気持ちが高まった。」

アンケートの自由記述には、このような声も記されていました。

「1年生はびっくりするほど分からないことがあったけれど、自分たちも6年生に教えてもらってここまで来ていると思うと、今の1年生も6年生になり新1年生を迎えるので頑張ろうと思いました。」

1年生の手伝いをするによって自らの過去を振り返り、感謝の思いを抱く。そして1年生の未来に思いを致すことによって、貢献の思いを高める。本当に素敵な6年生です。

幸せには、「もらう幸せ」「できる幸せ」「あげる幸せ」の三段階があるそうです。「もらう幸せ」をたっぷりと味わい、「できる幸せ」を実感し、「あげる幸せ」を経験することで自己有用感を高める。そんなふれあいのある教育活動を進めていきます。



東門のツツジ